

高脂血症患者における牛乳摂取の血清脂質に与える影響

千葉大学医学部第二内科講師 齋藤 康
篠宮 正樹

はじめに

前年度において同様の対象で検討し、牛乳摂取は、血清脂質に影響を及ぼさないという傾向を認めた。しかし、その反応は個人差が見られ、多くの症例による検討の必要性が指摘された。そこで今回、さらに同様の方法で検討を進めた。

対象

30歳以上の女性で血中コレステロールが 220mg/dl 、中性脂肪が 150mg/dl 以上のいずれかまたは両者を有する患者11例とした。検討期間中は食事量と食習慣を変更しないこととした。牛乳は、全国牛乳普及協会より供与を受けたLL牛乳を、一日 400ml 朝夕に 200ml ずつ摂取した。採血は、4週毎に4回（0、4、8、12週）、早朝空腹時に行なった。

結果

各検査値の平均値±標準偏差を図に示す。図1に血清脂質（TC、TG、HDL-C）、図2にアポ蛋白AⅠ、AⅡ、B、図3にアポ蛋白CⅡ、CⅢ、E、図4に血清アルブミン、カルシウム、リンの変動を示す。

血清コレステロールは、投与前値 246mg/dl 、4週 248mg/dl 、8週 252mg/dl 、12週 246mg/dl で有意の変動を認めなかった。その他すべての検査値に、有意の変動を認めなかった。

結論

牛乳の摂取は、血清脂質に対して悪影響を及ぼさなかった。

Figure 1.

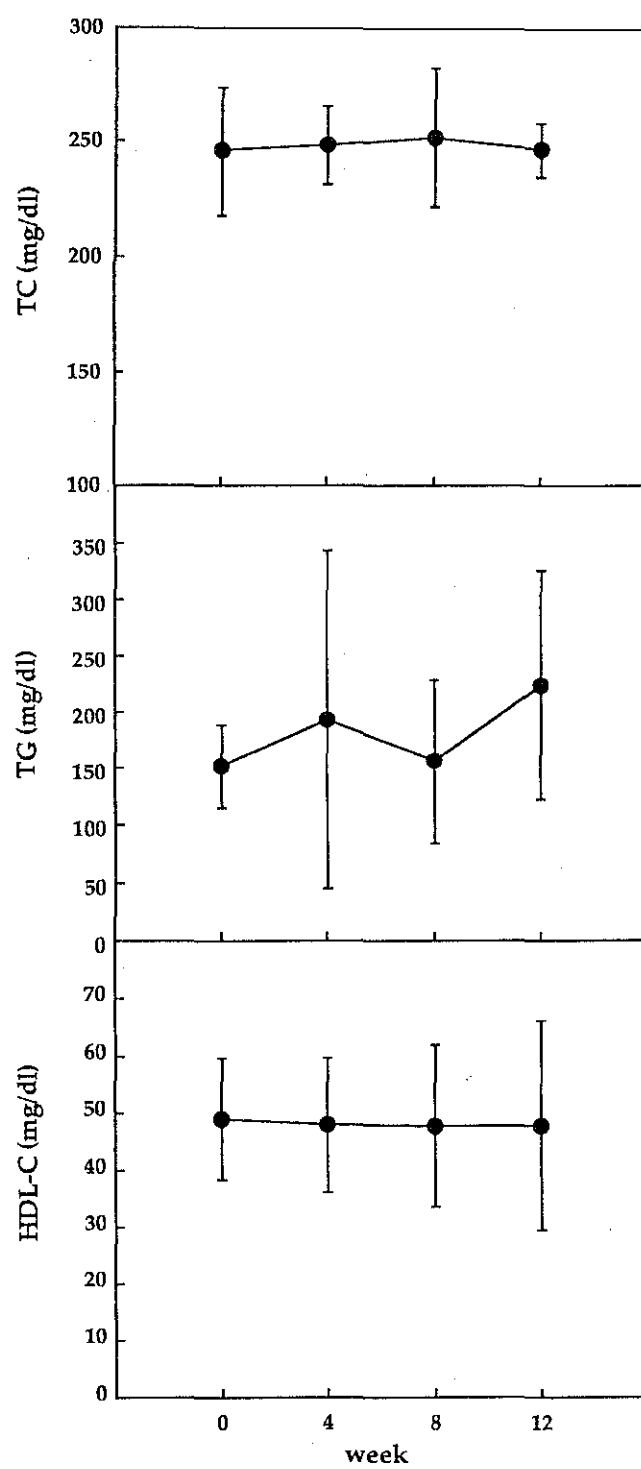


Figure 2.

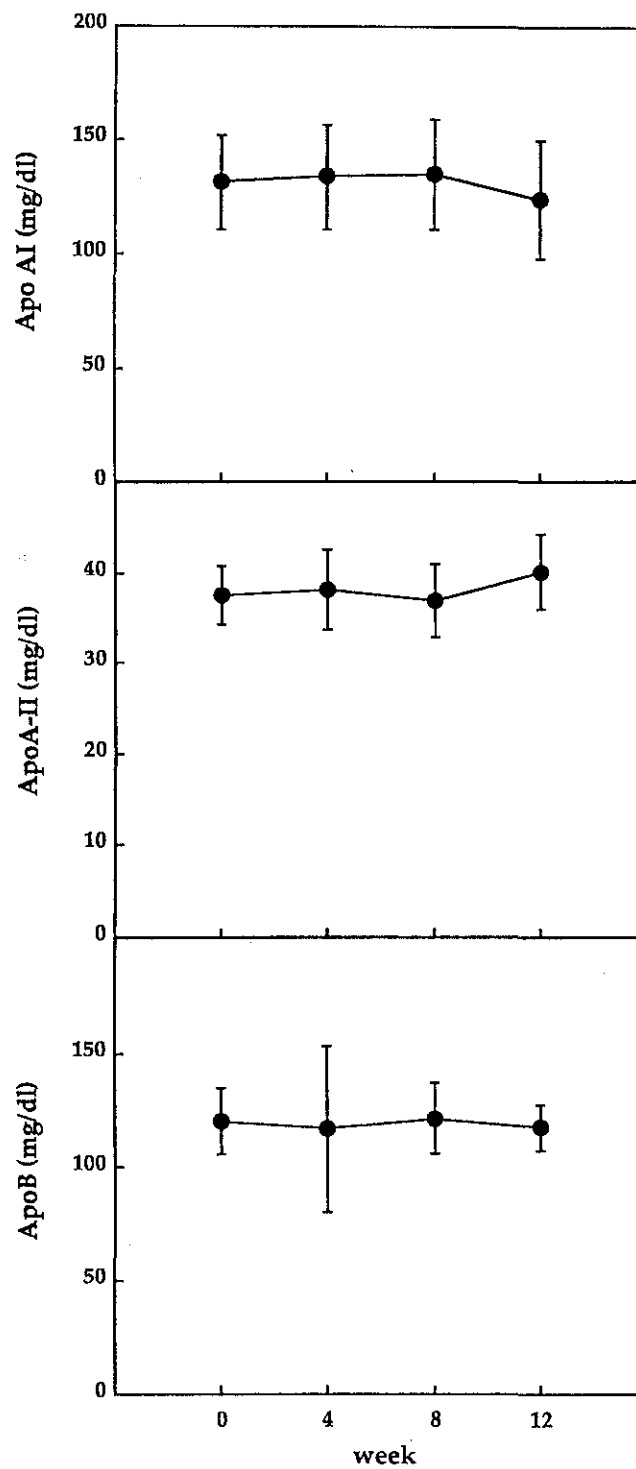


Figure 3.

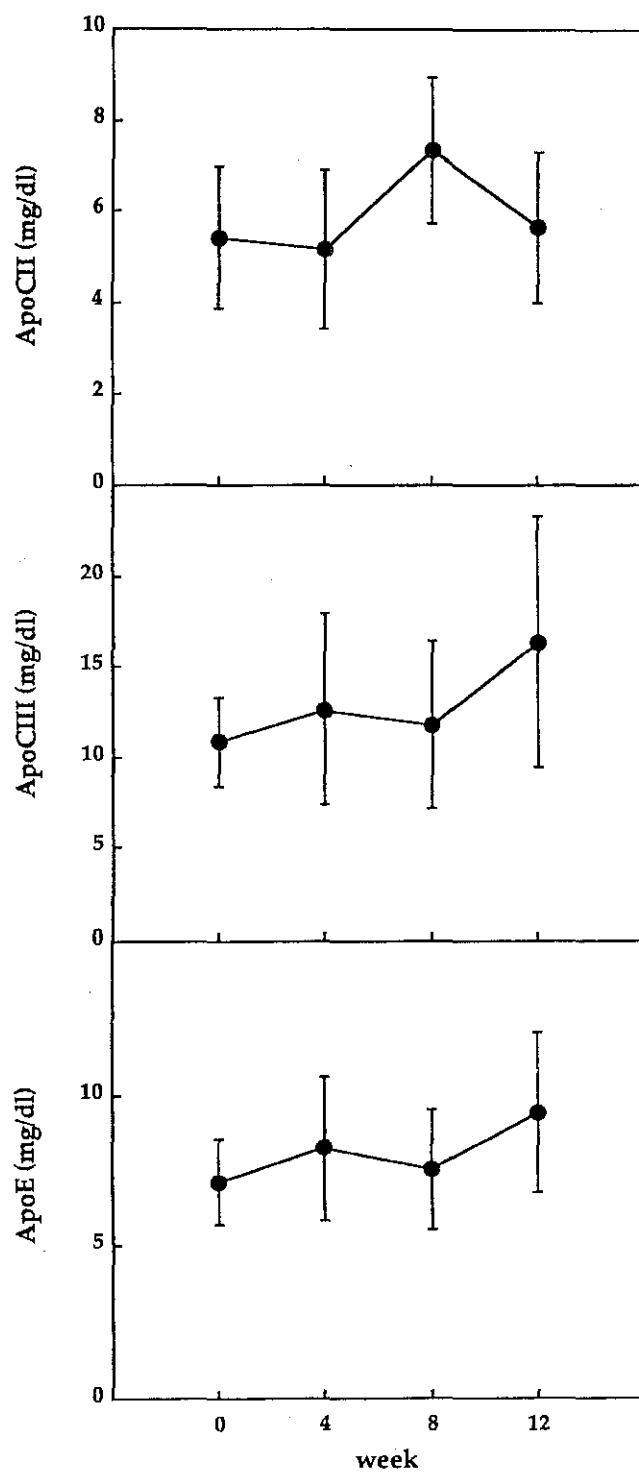


Figure 4.

